



エス ディー ジー ズ
SDGsを
学んで
新聞を作ろう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT **GOALS**

エス ディー ジー ズ

学ぼう! SDGs

目標1~4

ひん こん き が
貧困・飢餓・
けん こう きょう いく
健康・教育

編：ニシ工芸児童教育研究所

監修：一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク



もくじ

はじめに	2
この本の使い方	3
まんが「SDGsの世界へようこそ！」	6
SDGsとは…	8

目標1 貧困をなくそう

まんが「貧困をなくそう」	10
あらゆる形の「貧困」をなくそう	12
「貧困」に関する世界のいま	14
持続可能な未来のために	16
わたしたちにできること	18
●新聞作りの準備をしよう	20

目標2 飢餓をゼロに

まんが「飢餓をゼロに」	22
人の命をおびやかす「飢餓」	24
「飢餓」に関する世界のいま	26
持続可能な未来のために	28
わたしたちにできること	30
●新聞作りの準備をしよう	32

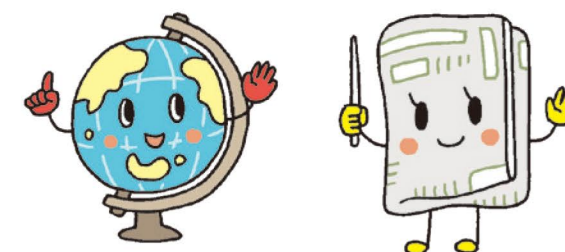
目標3 すべての人に健康と福祉を

まんが「すべての人に健康と福祉を」	34
人びとの健康を守る医療と福祉	36
「健康」に関する世界のいま	38
持続可能な未来のために	40
わたしたちにできること	42
●新聞作りの準備をしよう	44

目標4 質の高い教育をみんなに

まんが「質の高い教育をみんなに」	46
人生の選択肢を広げる「教育」	48
「教育」に関する世界のいま	50
持続可能な未来のために	52
わたしたちにできること	54
●新聞作りの準備をしよう	56

SDGs17の目標とターゲット (目標1～4)	58
さくいん	62



ESDSDGsとは…

Sustainable Development Goals

ESDSDGsは、2015年に国連（国際連合、9ページ参照）で決められた、「世界をよりよく変えるための17の目標」です。2030年までに、世界中の人びとを「だれ一人取り残さない」で、よりよい世界に変えていくことをめざしています。

「SDGs」は、なぜ生まれたの？

世界には、解決しなければならないさまざまな問題があります。これに世界の国々にや企業、またすべての人びと、ありとあらゆる国や団体、個人が力を合わせて取り組んでいけることをめざして、SDGsはつくられました。

「持続可能な開発目標」って、どういう意味？

Sustainableとは、「持続可能な」「続けることができる」という意味です。「ずっと続けられる開発目標」とは、人や生物や、地球の環境をそこなうことなく、未来に向けて行い続けていける方法で、わたしたちが発展していくために達成すべき目標、ということです。

ESDSDGsは、「エスディーゼス」と読むんだ。日本語に訳すと、「持続可能な開発目標」だよ。



地球のみんなが豊かに幸せに
くらすために

だれ一人
取り残さない



2030年までに「17の目標」と「169のターゲット」の達成を

ESDSDGsには、2030年までに達成することをめざした17の目標と、それぞれの目標に対して「ターゲット」とよばれる具体的な目標が合計169個、設定されています。



国連とは？

「国際連合」の略。世界の平和と安全を守り、国や地域の友好な関係をきずくために、1945年に設立された組織。2021年1月時点の加盟国数は193か国。

この巻で紹介する目標



1 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



2 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



3 すべての人に健康と福祉を

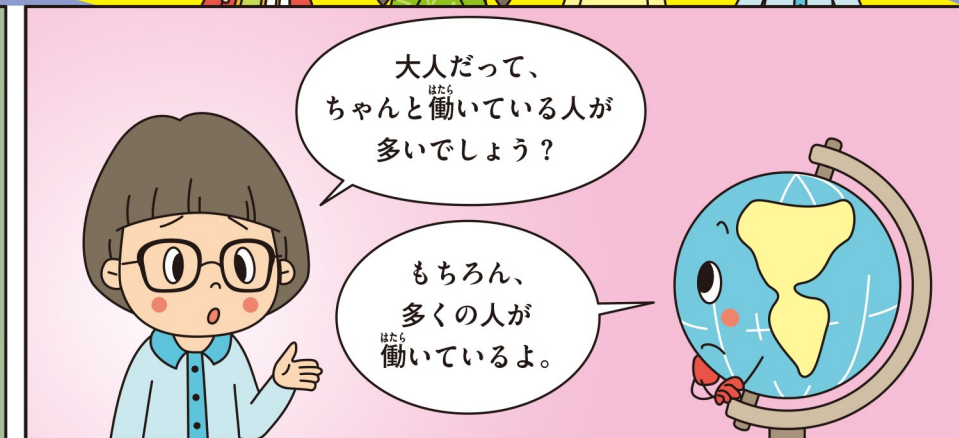
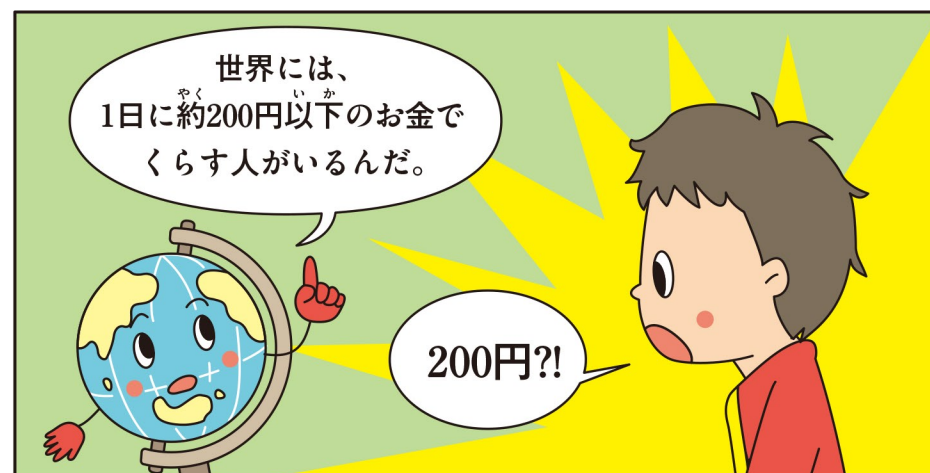
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



4 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

ひん こん 貧困をなくそう



くわしい解説を見よう！ →

あらゆる形の「貧困」をなくそう

世界には、「貧困」の状態にある人がたくさんいます。世界からあらゆる「貧困」をなくそうというのが、SDGsの1つめの目標です。

貧困とは

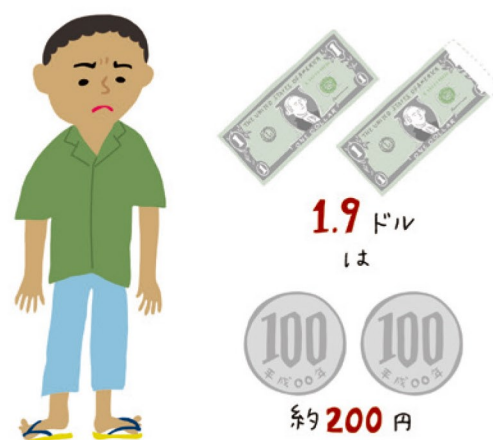
「貧困」には生きていくのがむずかしいほどまずしい「絶対的貧困」と、その国で「ふつう」とされている生活が送れない「相対的貧困」の2つがあります。

◆生きていくのがむずかしい「絶対的貧困」

世界には、生きていくのに必要な食べ物もなかなか手に入らない「絶対的貧困」の状態にある人が多くいます。

お金がないために教育が受けられず、病気になっても治療が受けられません。ゴミの山の中から売るものをさがして、お金をえている人もいます。

国連では、1日に1.9ドル（約200円）より少ないお金でくらす人びとを、「絶対的貧困」の状態にあると定めています。「絶対的貧困」は、アジアやアフリカなどの開発途上国[※]で多くなっています。



SDGsが発足した2015年は、1.25ドル未満で生活していることを「絶対的貧困」としていましたが、現在（2021年）の時点では、1日1.9ドル未満になっています。

※開発途上国…国民の収入が少ないなど、くらしの水準が低く、開発途中にある国のこと。



「絶対的貧困」は初めて聞いたよ！

貧困の状態から自分の力だけで抜け出すのはむずかしいんだ。理由を調べてみよう！



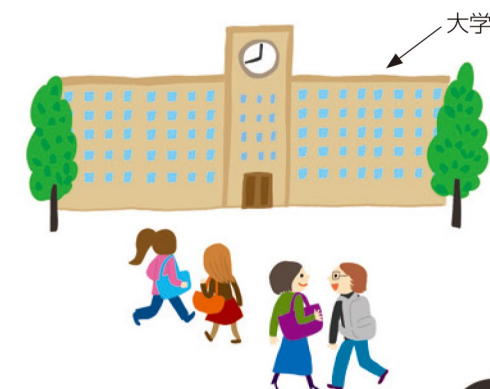
◆その国で「ふつう」の生活が送れない「相対的貧困」

その国の平均的な収入の半分より少ないお金でくらす生活を、「相対的貧困」といいます。相対的貧困は、日本やアメリカなどの先進国[※]で多くみられます。

日本では、一人当たりの1年間の生活費が122万円にみたない状態を「相対的貧困」としています。

相対的貧困の状態にある人は、まわりでは当たり前のように使われている製品やサービスが高価であるために利用できなかったり、進学などのお金がかかる選択をあきらめなければならなかったりすることがあります。収入が少ないために、その国の多くの人にできているような生活ができないのです。

※先進国…工業などが発展し、くらしの水準が高くなっている国のこと。



相対的貧困の状態にあり、進学をあきらめたり、修学旅行などに参加することができなったりする人がいます。

仕事をしていても、収入が少ないという問題があるんだ。



コラム

あらゆる形の貧困

貧困とは、お金がないことだけをさすものではありません。「あらゆる場所のあらゆる貧困」といわれるように、教育や仕事、食べ物、水、病院、住む場所などのような、生きるうえで欠かせないサービスや物を手に入れられないことや、自分の意見が自由に言えないこと、自分の能力を生かせないことも貧困の一種なのです。

つまり、まずしい人がお金以外の必要なサービスを受けられるように社会がささえ保護していくことが大切です。また、まずしい人は、気候変動による災害にとくに弱く、一度生活の基盤を失うと立ち直ることがむずかしいため、折れない力（レジリエンス）を身につけることがもとめられています。



持続可能な未来のために

世界から貧困をなくすためにどのような取り組みをすることがもとめられているのでしょうか。一緒に考えていきましょう。

1 社会保障を広げる

ターゲット：1.4

わたしたちの生活を守るためのしくみづくりがもとめられています。これが社会保障です。しかし、まずしい国とゆたかな国の社会保障の差はとても大きいものです。たとえば、仕事を失った人の生活を守る失業手当が受けられるのは、世界では4～5人に1人（約22%）、母親が子どもを産むときの出産手当が受けられるのは5人のうち2人（約41%）しかいません。弱い立場にある人を守るため、社会保障を世界中の人が受けられることが必要です。



2 自立を支援する

ターゲット：1.3

貧困をなくすために大切なのは、「まずしい人びとが生活できるようになること」です。すべての人が、土地や財産などを持ったり、新しい技術やサービスなどを使えたりすることをめざしています。

自分たちの生活をつくる政治に平等に参加できるようにすることなども大切です。

「貧困の連鎖」を止める制度や、まずしいことから差別を受けない社会づくりをはじめ、だれでも技術や仕事のチャンスを得られるようにすることがもとめられています。まずしい人たちが生活を向上させるための社会のサポートが必要とされています。



3 災害や事故から守る

ターゲット：1.5

災害や事故は、人びとの生活を苦しめます。日本でも、自然災害や経済的な問題にまきこまれて、仕事を失ったり収入がへったりして、まずしくなってしまう人がいます。貧困を生み、悪化させないために、災害に強いまちづくりや、避難行動などの防災計画が、地域でもとめられています。



4 開発途上国を支援する

ターゲット：1.a、1.b

命にかかわる「絶対的貧困」が多いのは、開発途上国にくらす人びとです。先進国は、開発途上国の人びとを支援する必要があります。

国連開発計画（UNDP）は、貧困を最優先の課題として取り組んでいます。食べ物や生活に必要なものとどけるほか、各国から資金を集めたり、人や技術を提供したりすることがもとめられています。



取り組みピックアップ 一人親世帯を支える人びと

日本では、シングルマザーが貧困の状態にあることが多くなっています。

一人で子どもを育てている、生活の苦しい家庭をサポートしている支援団体の「リトルワズ」では、一人親のために、仕事につくための支援や、生活の基礎となる住むところの支援のほか、心配ごと・なやみごとの相談を行っています。また、子どもには、習いごとの体験、旅行などのイベントへ参加ができるようにサポートしています。

親に余裕が生まれれば、子育てに時間と費用をかけることができ、子どもたちも安心して勉強できるようになります。このような形で、「貧困の連鎖」を止める取り組みをしている人びとがいます。



「リトルワズ」が行っている子どもたちのためのクリスマスイベント。

新聞作りの準備をしよう

●テーマを設定しよう



アジアやアフリカには、1日約200円でくらさなければならない「絶対的貧困」の状態の人が多くいることがわかった。
絶対的貧困とは何かをくわしく調べてみたいと思ったよ。

わたしは、日本の貧困について調べたいと思ったよ。
だって、6人に1人が貧困なんて、思ったより多いのでおどろいた。
日本の貧困がいつからふえてきたのか、貧困の状態にある人をすくう日本の活動についてまとめるのもいいんじゃないかな。



ぼくは、貧困の連鎖について調べて、それで新聞作りをしたいな。
どうすれば世界の国の全員が貧困からぬけ出せるのか、解決策がわからないって思ったんだ。
まずしい人が、急に大金を手にしたらどうなるんだろう？ お金の使い方をまちがえたら貧困にもどってしまうってこと？



みんなの意見をまとめたら
どんな新聞になるかな。

書きたいテーマについて
じっくり話し合って何を
書くかを決めよう！



●もっと調べてみよう

貧困の多い地域

アフリカや南アジアには、絶対的貧困の人びとがたくさんいます。貧困に苦しむ人たちは、どんな生活をしているのでしょうか。住まい・食事・衣服や、問題を改善するための方法について調べてみましょう。



紛争と貧困

紛争と貧困には関係があるといわれています。紛争が起きたためにまずしい生活になる場合、まずしい生活のために紛争が起こる場合、このどちらも考えられます。紛争と貧困に苦しむ人びとのことを調べてみましょう。

日本の貧困支援

日本には、働いてもわずかな収入しかえられていない家庭があります。そのため、「子ども食堂」など、まずしい生活を送る人を支援する活動が広がっています。その活動内容を調べてみましょう。



社会のルール

世界のものの売り買いのしくみやルールなどは、先進国の人たちがつくったものが多く、その人たちに合わせたものになっている可能性があります。先進国がつくったしくみが、途上国の人を苦しめていないか調べてみましょう。

インターネットで検索してみよう

●最初に入るとよい言葉

ESDGs ・ 貧困

●加えるとよい言葉

後発開発途上国 ・ 難民 ・ 貧富の差
就労支援 ・ 貧困の連鎖 ・ 寄付 ・ シングルマザー ・ スラム
フードバンク ・ 国際貧困ライン ・ 奨学金 ・ フェアトレード
絶対的貧困 ・ 相対的貧困 ・ 極度の貧困

参考になる本

●『幸せとまずしさの教室 世界の子どものくらしから』石井光太著 少年写真新聞社

作家の石井光太さんが、幸せとは、まずしさとは何かを授業形式で伝えます。
1,600円(税別)

